



MEDIA RELEASE • COMMUNIQUE AUX MEDIA • MEDIENMITTEILUNG

2005年4月1日

報道関係各位

ノバルティス(スイス)が発表しましたリリースの日本語訳(要約)をご参考までにお届けします。

ノバルティス、ヘキサルとイオン・ラブズを買収 ジェネリック医薬品で世界最大に

- ヘキサルとイオン・ラブズの買収により、サンドは世界で市場地位を強化。米国・ドイツを含む主要市場で上位に
- 製品ポートフォリオを大幅に拡充
- ジェネリック化が可能な領域のほぼすべてをカバーする、世界最大規模の開発パイプラインを実現
- 市場初のジェネリック医薬品の上市で実績のある、業界で最も優れた開発チーム
- 付加価値の高い薬物送達技術とバイオジェネリックのリーディング企業
- ヘキサル全株およびイオン・ラブズ株の67.7%を56.5億ユーロ(約7,800億円¹)で買収
- イオン・ラブズの残りの株式は、1株当たり31米ドルで公開買付へ
- 買収完了後、3年以内に年間2億米ドルの費用面でのシナジー効果を見込む。そのうち50%は18カ月以内に実現予定
- 買収完了後12カ月以内に、買収効果が利益に対しプラスに働く見込み

2005年2月21日、パーゼル発 -ノバルティスは、ジェネリックの有力企業2社を買収し、ノバルティスのジェネリック部門であるサンドと経営統合することを発表しました。これにより、サンドは世界最大のジェネリック企業となります。

ドイツ2位のジェネリック企業で、欧州で強力な存在感を発揮するヘキサルAG(株式非公開)の100%の株式と、米国で急成長中のジェネリック企業で、ヘキサルと戦略的提携関係にあるイオン・ラブズ(NASDAQ上場)の67.7%の株式(希釈化後65.4%)を、総額56.5億ユーロ(約7,800億円)で買収することについて、最終的な合意に至りました。さらに、イオン・ラブズの取締役会ならびに独立取締役による特別委員会で満場一致で承認されたのに伴い、ノバルティスはイオン・ラブズの残りの3,190万株(希釈化後34.6%)について、1株当たり31米ドルで公開買付を実施します。

¹ 1ユーロ = 138円で換算(2005年2月21日時点のおよそのレート)

この買収により、サンドの全世界での地理的プレゼンスおよび抗生物質領域の強み、ヘキサルのドイツにおける主導的地位と優れた実績をもつ製品開発力、さらにイオン・ラブズの米国市場における「製品化が難しいジェネリック医薬品」領域での強いプレゼンスという、3社の強みが統合されることとなります。

買収完了後のサンドは、2004年数値の単純合計で、売上高が51億米ドル（約5,508億円²）となり、600以上の有効成分、5,000以上の剤形をポートフォリオに揃える、従業員20,000人以上の世界最大のジェネリック企業となる見込みです。

買収完了後のコスト効果は3年以内に年間2億米ドルに上ることが期待されており、そのうち50%が18カ月以内に実現される見込みです。コスト効果の要因には、資材調達、加工コスト低減、機能統合に伴う売上原価の低減などによる製造コストの節減、事務や流通の統合による販売・マーケティング費の節減、開発ポートフォリオの整理と導入製品の必要性が減ることによる開発費の節減、管理および経営体制の統合による一般管理費の低減などが挙げられます。なお、今後サンドの成長により人員増が見込まれることから、必要な人員削減の一部は相殺される見込みです。

ノバルティスの会長兼最高経営責任者（CEO）のダニエル・バセラ（Dr. Daniel Vasella）は次のように述べています。「ジェネリック医薬品は、先進国ならびに途上国において患者さんの医療ニーズに応える上で極めて重要です。高齢化により医薬品の需要がかつてなく増加しており、医療費削減の圧力が高まり続けているからです。そのため、ジェネリック医薬品は画期的新薬を補完するものとして非常に重要であり、革新性（イノベーション）に投資する資源を確保し、革新性を間接的に促進しています。ヘキサルとイオン・ラブズの買収により、各地域でのプレゼンス、製品ポートフォリオ、開発・申請能力が大幅に向上するとともに、幅広い領域のジェネリック医薬品をより大きな規模でいち早く患者さんにお届けできるようになります。この買収で、ノバルティスの医薬品関連の事業ポートフォリオが拡大し、大手購入業者との取引や製造において医療用医薬品事業との相乗効果が生まれます。これは、革新的な医療用医薬品、高品質のジェネリック医薬品と一般用医薬品を提供することにおいて、リーディング企業となるという私たちのコミットメントを反映するものです」

サンドのCEOであるアンドレアス・ルンメルト（Dr. Andreas Rummelt）は、次のようにコメントしています。「サンドとヘキサル、イオン・ラブズの統合により、3社それぞれの強みをうまく生かすことが可能となります。統合により、世界的に広範なプレゼンスと、急速に変化するジェネリック市場での成功に必要な専門知識を備えた、高い競争力を持つトップ企業が誕生します」

統合により成長力ある世界最大のジェネリック企業が誕生

統合後のサンドは、相当な規模と事業領域を備える企業となります。新会社は、米国・ドイツなどの主要市場で1位または2位になり、アジア（インド、中国、日本）や中南米での強力な足掛かりを得ます。

ヘキサルは、欧州で最も急速に成長しているジェネリック企業の一つであり、世界で2番目に大きなジェネリック市場のドイツで主導的地位を確保しています。この買収でサンドは欧州のほぼすべての市場でリーディング・ポジションを獲得する見込みです。過去3年間で、ヘキサルは、大成功を収めた高コレステロール血症治療薬のシンバスタチン（Zocor®）

² 1US\$=108円で換算（2004年のおよその期中平均レート）

のジェネリックなど121の製品を発売しています。さらに、同社は自社開発の薬物送達システムに基づく経皮吸収パッチ製剤の鎮痛剤フェンタニル（Duragesic®）の販売準備中です。

世界最大のジェネリック市場の米国において、ノバルティスは、最も急速な成長を遂げている企業の一つであるイオン・ラブズの支配権を取得します。過去3年間だけで、イオン・ラブズは15の市場初のジェネリック医薬品を上市し、67の化合物、147の剤形により構成される製品ポートフォリオの半数近くは、市場でトップシェアを占めています。イオン・ラブズは現在、米国食品医薬品局（FDA）に27件の略式承認申請（ANDA）を行っており、これは、医療用医薬品（ブランド薬）の年間売上高で約143億米ドルに相当します。

経営統合後の開発パイプラインは、今後数年間に特許保護が失効すると予想される主要化合物のほぼすべてをカバーしており、2005年から2009年に米国で特許が切れる製品の売上高は690億米ドルに上ると予想されます。さらに、サンドは、高い生産性を誇る優れた開発・申請能力を持つ会社となり、年間100件以上の登録申請を目指します。また、規模拡大により、医師・薬剤師の市場にさらに浸透することができます。新会社が2005年だけで米国とドイツで70の製品発売を予定していることから、これは特に重要な要素です。

サンドはまた、買収により技術基盤を大幅に強化します。特に、経皮吸収パッチ、吸入薬、徐放性インプラント、複数粒子の薬物送達システム製剤の応用において強化されます。さらに、サンドはバイオ医薬品の製造能力を拡大するとともに、原薬製造の機能統合を進めます。原薬製造の機能統合は、ジェネリック医薬品をいち早く市場に導入し、高品質のジェネリック医薬品を競争力ある価格で提供するために、非常に重要です。

ヘキサールAGの共同創業者で共同CEOのトーマス・ストルングマン（Dr. Thomas Strüngmann）と同氏の双子の兄弟であるアンドレアス・ストルングマン（Dr. Andreas Strüngmann）は、次のように述べています。「ノバルティスとの合意は、ヘキサールとその社員の将来を保証するものです。社員と家族のために、新規株式公開（IPO）、合併、売却といったあらゆる選択肢を検討しました。サンドとの統合という選択肢を選ぶことにより、当社が創出してきた価値を今後も継続できるだけでなく、さらに重要なことには、リーディング企業有能力と資源を活用し、発展し続けることが可能となりました。この合併は、最も競争力あるジェネリック企業の基礎をなす、製品、地理的条件、技術、社員のスキルといった点で、業界内で最適の組み合わせです。合併後の会社は、ダイナミックな成長を遂げることでしょう」

ヘキサール、イオン・ラブズとの取引条件

ノバルティスは、ヘキサール買収とイオン・ラブズの支配権取得のために、一連の取引を行い、この取引にはグループの手元資金が充てられます。

- 現金 56.5 億ユーロ（約 7,800 億円）を支払う 2 つの契約が最終合意に至りました。一つは、株式非公開のヘキサール AG（1986 年にストルングマン兄弟により設立され、同兄弟とその家族により 100%所有されている）の 100%の株式を取得する契約であり、もう一つは、イオン・ラブズの株式 6,000 万株（イオン・ラブズの株式資本の 67.7%、希薄化後 65.4%）をストルングマン兄弟とその家族が所有するサント・ホールディング（ドイツ）から取得する契約です。
- ノバルティスがイオン・ラブズの残りの希薄化後株式約 3190 万株を、1 株当たり 31.00 米ドルで取得するという最終合意。この合意は、イオン・ラブズの取締役

役会ならびにストルングマン兄弟と利害関係のない取締役からなる特別委員会により満場一致で承認されており、ノバルティスの関連会社が公開買付を開始し、法の規定に従い、買付に応じたすべての株式を購入します。公開買付価格は、（ヘキサールとイオン・ラブズの買収に関するメディアの憶測が浮上する前の）合併観測の影響を受けていない株価である約24.75米ドルを25%上回り、またイオン・ラブズの過半数株式取得にあたりサント・ホールディングに支払われた価格を9%上回る価格になります。また、市場で取引されている株式の大半が公開買付に応じた場合、ノバルティスは合併を発効し、残りすべての株式を公開買付価格で取得します。

取引は、いくつかの国（米国、欧州など）では規制当局の承認を条件としており、2005年下半期に完了する予定です。

経験豊富な経営陣

買収完了後、新生サンドの経営陣は、CEOのアンドレアス・ルンメルトのリーダーシップの下、3社出身の経営陣により構成されることとなります。新会社では、アンドレアス・ストルングマンが欧州、アフリカ地域の事業責任者となり、当面アジア太平洋地域の事業責任者も兼任します。トーマス・ストルングマンは、ドイツ、米州、中東地域の事業責任者の役職にとどまります。両者は、サンドの経営委員会に加わります。イオン・ラブズの現CEOであるベルンハート・ハンプル（Dr. Bernhard Hampl）は、サンドの米国事業の責任者に任命され、トーマス・ストルングマンの直属になります。

ノバルティスについて

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティスグループ全体の2004年の売上高は282億米ドル（約3兆507億円）で、当期純利益は58億米ドル（約6,228億円）、研究開発費は42億米ドル（約4,544億円）でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約81,400人の社員を擁しており、世界140か国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。

<http://www.novartis.com>

サンドはノバルティスのジェネリック事業部門です。ジェネリック医薬品の世界的リーダーであり、ジェネリック医薬品のほか、医薬品ならびにバイオ医薬品の有効成分を製造しています。数十年にわたる経験とノウハウにより、サンドは医薬品、バイオジェネリック、工業製品の有力なパートナーとなっています。サンドは、世界110か国以上で約13,000人の社員を雇用しており、2004年の売上高は30億米ドル（約3,240億円）でした。

ヘキサール（Hexal AG）について

ドイツのホルツキルヘン（Holzkirchen）に本拠を置く株式非公開会社で、世界で2番目に大きいドイツのジェネリック市場で第2位、その他主要市場でも存在感を発揮するジェネリック医薬品企業です。ここ数年10%台後半の高い売上成長を続けており、2004年の売上高は16.5億米ドル（約1,782億円）に達しました。ヘキサールは世界40か国以上で約7,000人を雇用しています。

イオン・ラブズ（Eon Labs）について

米国ジェネリック業界大手の1社で、高品質で安価な製品を供給しています。イオン・ラブズはヘキサールの戦略的パートナーです。2004年の売上高は43,100万米ドル（約465億円）、前年比31%増を記録しました。従業員数は約500人。ストルングマン兄弟とその家族は、

持株会社を通じイオン・ラブズ株の67.7%を保有しています。

免責条項

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。従って、その内容に関して、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解下さい。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照下さい。

以上